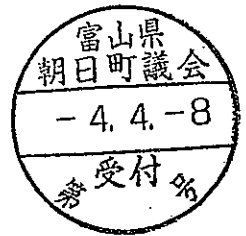


様式第9号(第7条関係)



令和4年4月8日

朝日町議会議長 西岡良則 殿

会派名 自民クラブ

代表者名 水野仁士



令和3年度政務活動費に係る収支報告について

朝日町議会政務活動費の交付に関する条例第11条第1項の規定により、別紙のとおり令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和3年度政務活動費収支報告書

会派名 自民クラブ

1 収入

政務活動費 680,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	支出額	備考
調査研究費	429,030	11/16～11/18 視察調査 北海道東川町、北海道下川町、北海道札幌市
研修費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報・広聴費	176,000	自民クラブ通信 Vol.7 発行
事務費		
人件費		
その他の会派活動費		
合計	605,030	

3 残余

74,970 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-1
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	3,800円	支出年月日	令和3年11月8日
支出内容	手土産代 (2,400円) 郵送料(1,400円)		
備考			
領収証等添付欄		※領収証は重ならないように添付すること。	
<p>別紙のとおり</p>			

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

領収証等添付欄

請求書 3年11月8日 No. _____



氷見俊蔵商店

自民クラブ様

〒939-0741 下新川郡朝日町泊429-4
TEL 0765-83-1808 FAX 0765-83-2728

下記のとおり御請求申し上げます 登録番号 _____

税込合計金額		消費税額等				
¥3,800						
月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	税率(%)	摘要
11/8	1 500ml に7に7%	244	100	24400		
	2 北海道送料	1件		1400		
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
合計(税抜・税込)				税率	%	消費税額等
				税率	%	消費税額等
						3800

コクヨ ウ-322

領収証

自民クラブ様 No. _____

¥3,800-

★
但

3年11月8日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収入
印紙

Kannet

氷見俊蔵商店

〒939-0741 下新川郡朝日町泊429-4
TEL 0765-83-1808 FAX 0765-83-2728

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-2
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	25,000円	支出年月日	令和3年11月16日
支出内容	ホテル宿泊代(5,000円×5名)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。


領収証 C 415382


自民クラブ 様

宿泊料金 5名分
 飲食料金
 駐車料金

(入金内訳) 月 日ご利用分) 5名分
 ●宿泊料金 ●
 ●飲食料金 ●
 ●駐車料金 ●

領収日 2021 年 11 月 16 日
 (消費税込)

プレミアホテル-CABIN- 



PREMIER HOTEL
—CABIN—

大阪
大阪府大阪市北区南森町1-3-19
TEL 06-6363-1201

札幌
北海道札幌市中央区南5条西7丁目
TEL 011-213-1301

新宿
東京都新宿区歌舞伎町2-40-3
TEL 03-3205-6300

旭川
北海道旭川市1条通7丁目
TEL 0166-73-7430

松本
長野県松本市深志1-2-31
TEL 0263-38-0123

帯広
北海道帯広市西1条南11丁目
TEL 0155-66-4205

入金区分
現金 CC
振込

取扱者印
高井

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-4
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,400円	支出年月日	令和3年11月17日
支出内容	高速料金 (旭川鷹栖→士別剣淵本線)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 士別剣淵本線

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年11月17日 8時37分

車種 普通

通行料金 ¥1,400-
(現金)

—入口料金所— 旭川鷹栖
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号201-00380749-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-5
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	15,000円	支出年月日	令和3年11月17日
支出内容	下川町視察代(3,000円×5名)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

領 収 証

富山県朝日町議会 自民クラブ様 No. _____

¥15,000-

但 下川町視察代として

入金日 令和3年 11月 17日 上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

内訳
税抜金額 _____
消費税額等 (%) _____

特定非営利活動法人しもかわ観光協会

会 長 石 谷 英



※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-6
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	4,720円	支出年月日	令和3年11月17日
支出内容	昼食代 (5名)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

2021年11月17日(水)


領 収 証

自民クラブ様

¥4,720-

預/現計 ¥4,720

但し、飲食代として
 レストラン 風の寄り道
 北海道名寄市風連町西町334-2
 TEL 01655-3-2332

担当者 

* 財布等で保管戴く場合、印紙面で内側に折って保管願います。 0001-5857

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。
 ※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-7
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,170円	支出年月日	令和3年11月17日
支出内容	高速料金（土別剣淵本線→旭川北）		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 旭川北

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年11月17日13時44分

車種 普通

通行料金 ¥1,170-
(現金)

—入口料金所— 土別剣淵本線
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号204-00671319-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-8
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	5,312円	支出年月日	令和3年11月17日
支出内容	ガソリン代		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ENEOS

納品書(領収書)

2021年11月17日 16:30

車種フリー 様 M
 6 160746-49993-001
 現金フリー
 0026-00
 レギュラー P05
 数量 32.00L *
 単価 166円 ¥5,312
 (内ガソリン税 53.80円 ¥1,722)

.....
合計 ¥5,312
 (消費税10%対象 ¥5,312
 内消費税等 ¥483)

現金でお支払いの場合は領収書に代わらせて頂きます。

北海道エネルギー 道北支店
 旭川北SS
 北海道 旭川市
 永山北1条9丁目19-7
 TEL:0166-47-1298 SS-100746
 レシートNo 7987-02 データNo6493-6494
 004 小野 2021/11/18

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-9
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	3,560円	支出年月日	令和3年11月17日
支出内容	高速料金 (旭川北→札幌)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 札幌

NEXCO 東日本 お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年11月17日 18時23分

車種 普通

通行料金 ¥3,560-
(現金)

—入口料金所— 旭川北
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関5-3-2
取扱番号204-01931639-00



※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-10
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,085円	支出年月日	令和3年11月17日
支出内容	手土産代 (1,085円)		
備考			
領収証等添付欄	<div style="text-align: center;">   株式会社 ネクスコ東日本リテイル 道央自動車道 砂川SA上り線 TEL 0125-53-3797 北海道砂川市空知太490-2 2021年11月17日(水) 17時26分 領 収 書 4902975074030 アーモンドキャラ ※ ¥1,080 2400000009740 レシ袋5 (ポリ) 45号 ¥5 小 計 ¥1,085 <hr/> 合計 2点 ¥1,085 (内課税10% ¥5) (内消費税10% ¥0) (内課税8% ¥1,080) (内消費税8% ¥80) (消費税計 ¥80) お支払い ¥2,000 お金釣り ¥915 印:MO.104015 印:1022 担当:アオヤマ 店:0000 注)※印は軽減税率(8%)適用商品 </div>		
	※領収証は重ならないように添付すること。		

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-11
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,500円	支出年月日	令和3年11月18日
支出内容	駐車場代（札幌エクセルホテル東急）		
備考			
領収証等添付欄		※領収証は重ならないように添付すること。	
別紙のとおり			

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

お勘定書
STATEMENT

お名前 石原 孝之

様



札幌 エクセルホテル東急

SAPPORO EXCEL HOTEL TOKYU
〒064-0808 北海道札幌市中央区南8条西5-420
Tel:011-533-0109 Fax:011-513-8622
www.tokyuhotels.co.jp

お部屋番号 1015 ご人数 1
ご到着 2021/11/17 ご出発 2021/11/18

日付	部屋番号	ご明細	料金	お支払等	備考	Page. 1
11/18	1015	駐車場代	1,500			

ご利用金額	お支払金額
1,500	1,500

ありがとうございました。またのご利用を心よりお待ちしております。
尚、伝票等につきましては、すでにお渡し済でございますので、再発行は致しかねます。
札幌エクセルホテル東急のホームページからご予約頂くと【絶対にお得】です!!!
<http://www.sapporo-e.tokyuhotels.co.jp>

ご請求金額
0

(内 消費税: 136)

発行番号 111822105139 P 1 2 22 2 0
21/11/18 08:21 103

ご署名

領 収 書

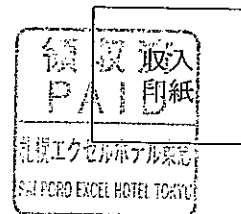
日付 2021年11月18日 111822105139

お名前 自民クラブ 様

金額 ¥1,500-

但し 駐車場代として

上記金額正に領収致しました。



札幌エクセルホテル東急 〒064-0808 札幌市中央区南8条西5-420 TEL:011-533-0109

担当者 下山 真輝

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-12
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	420円	支出年月日	令和3年11月18日
支出内容	高速料金 (料金所 新川)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 新 川

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年11月18日10時27分

車種 普通

通行料金 ¥420-
(現金)

東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号2894-03-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-13
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	910円	支出年月日	令和3年11月18日
支出内容	高速料金 (札幌南→千歳)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 千歳

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

21年11月18日11時00分

車種 普通

通行料金 ¥910-
(現金)

—入口料金所— 札幌南
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号205-00951041-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-14
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	3,853円	支出年月日	令和3年11月18日
支出内容	ガソリン代		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ENEOS

納品書(領収書)

2021年11月18日 11:03

売上
 レンタカー 様
 6-100737-50107-001
 現金固定
 車両番号 実車番
 0026-00
 レギュラー P-04
 22.80L *

169円	¥3,853
合計	¥3,853
(消費税10%対象)	¥3,853
内消費税等	¥350)

現金で買上げの場合は領収書にかえさせて頂きます。

<http://www.sanyuoi1.jp>
 株式会社 三友石油
 フレンドリー千歳SS
 北海道 千歳市泉沢878-43
 TEL:0123-24-1177 SS-100737
 レシートNo 5994-01 データNo5120-5121
 001田川 将司 2021/11/18

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-15
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	7,500円	支出年月日	令和3年11月18日
支出内容	昼食代 (5名)		
備考	上記の内、6,500円を政務活動費の対象とする。		

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

2021年11月18日(木)


領 収 証

自民クラブ 様

¥ 7, 5 0 0 -

現計 ¥7,500 (消費税等 ¥681)
 (消費税等 681円を含みます)

但し、飲食代として
 一灯庵

北海道千歳市美々987番地22 国内線ターミナルビル 担当者 
 TEL: 0123-46-2266
 * 財布等で保管頂く場合、印紙面で内側に折って保管願います。 0454-9268

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-16
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	353,700円	支出年月日	令和3年11月29日
支出内容	航空券(富山→羽田→旭川 5名分) 航空券(新千歳→羽田→富山 5名分) 宿泊費(札幌エクセルホテル東急 5名分) レンタカー代 企画手配取扱料		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

領 収 証

令和3年11月29日

No 081979

自民クラブ 殿

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
	7	3	5	3	7	0	0	

但し

上記金額正に受領致しました

担当者印

現金	7	3	5	3	7	0	0

- 新富観光バス
- 海外・国内旅行
- 損保代理店

新富観光サービス株式会社

- 本社 富山市上野322 ☎(076)428-5544 〒937-0046
- 魚津店 魚津市中央1-10 ☎(765)755710
- 高岡店 高岡市二塚401-1 ☎(765)429748
- 富山支店 富山市上野322 ☎(076)92-2233
- 新潟支店 新潟市中央区 ☎(766)92-2244

受注No 6029393


社印及び取扱者印なきもの又は金額訂正は無効です

3×50×300

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

〒



新富観光サービス株式会社

自民クラブ 様

本 社 〒939-8195 富山市上野322 Tel. (076) 428-5544
 ハブセンター 〒939-8195 富山市上野322 Tel. (076) 429-8448
 高岡店 〒933-0816 高岡市二塚401-1 Tel. (0766) 92-2233
 魚津店 〒937-0046 魚津市上村木1-1-10 Tel. (0765) 24-7110
 オセルビル2階

毎度ありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。

受注番号	担 当
6029393	久野木 和美

旅行実施日	ご利用額	ご入金額
2021/11/16	353,700	
2021/11/18		

今回ご請求額
353,700

■商品名・摘要	■数量	■単価	■金額
航空券 (11/16 富山→羽田)	5	12,790	63,950
航空券 (11/16 羽田→旭川)	5	12,290	61,450
航空券 (11/18 新千歳→羽田→富山)	5	23,450	117,250
宿泊費 (11/17 札幌エクセルホテル東急)	5	11,700	58,500
レンタカー代	1	49,500	49,500
企画手配取扱料 (保険料含む)	5	610	3,050

ご利用合計額	353,700
--------	---------

取引銀行 北陸銀行越前町支店 (普)1104610
 富山第一銀行富山南ヶ崎支店 (当) 014442
 富山信用金庫大泉支店 (当) 002586
 三井住友銀行 富山支店 (普)0458570

※お支払いは 月 日までにお願い申し上げます。
尚、振込手数料はお客様ご負担にてお願い申し上げます。

口座名 新富観光サービス株式会社

令和3年自民クラブ行政視察研修報告

水野仁士

自民クラブは11月16日～18日に渡り、視察研修へ行って参りました。

1日目 11月16日(火) 16:45～

北海道上川郡東川町 役場表敬訪問

副町長の平田章洋氏始め、議長、副議長、税務定住課長、議会事務局長等の出迎えを受け、互いの町の近況を説明したり質問等をする。

2日目 11月17日(水) 9:30～

上川郡下川町 まちづくりセンターコモレビで概要説明

役場周辺熱供給システム見学

木質原料製造施設見学

一の橋地区バイオビレッジ見学

9割が森に囲まれた下川町は森を財産として森とともに生きる『循環型森林経営』をいち早く確立し、この森の恵を無駄なく使って暮らす町であり、人口がたった3,200人ながら国から『環境未来都市』及び『SDGs未来都市』に認定されている。

○ 担当課より下川チャレンジャーと題して下川町の持続可能な地域社会の実現に向けての人と自然の未来へ繋ぐ事業の概要説明を受けた。

キーワード 森林資源を余すところなく使う

総面積 644, 2平方キロメートル (東京23区と同じ)

森林面積 569, 8平方キロメートル (総面積の88パーセント)

気候 夏30℃以上 冬-30℃以下

明治 34 年に岐阜県から入植、昭和 35 年頃は 15,500 人以上いた人口がその後減少し続け、平成 8 年頃は 3,400 人そして現在は 3,200 人となる。

2007 年 下川町自治基本条例に『持続可能な地域社会の実現を目指す』事を位置づけ

2008 年 環境モデル都市

2011 年 環境未来都市 2014 年 循環型森林経営スタート

2017 年 ジャパン SDG s アワード賞受賞

2018 年 SDG s 未来都市

- ・ 森林資材活用 1 本の原木→主産物（製材、集成材他）→副産物（端材、木酢液他）→高付加価値化（破砕炭、燻煙材、精油）
- ・ 地域在の利用拡大 小学校・公民館内装や設備木質化
- ・ 森林バイオマスエネルギー利用による地域づくり 温泉、学校、町営住宅、高齢者施設、病院等のバイオマスボイラー導入

超高齢化対応社会モデル集落『一の橋集落』の着手前→着手後

人口はほぼ変わらないが高齢化率が低下

2009 年	14 歳以下	2,1%	15 歳～64 歳	46,3%
↓	65 歳以上	51,6%		
2016 年	14 歳以下	9,21%	15 歳～64 歳	63,2%
	65 歳以上	27,6%		

(詳細は資料に掲載)

14:30～

東川町せんとピュア 多目室にて視察研修

出席者 副町長、議長、副議長、税務定住課長、議会事務局長

朝日町自民クラブ5名

東川町は北海道のほぼ中央に位置し(旭川空港まで10分、羽田空港まで2時間、旭川駅まで30分) 東部は山岳地帯で大規模な森林地域を形成し、日本最大の大雪山国立公園の区域の一部となっている。大雪山の最高峰旭日岳(2,291m)は東川町に所在し、上水道がなく大雪山の恵の地下水で暮らす町である。

美しい東川の風景を守り育てる景観条例を制定し、移住施策、教育、産業振興、資源・文化、福祉と東川の強みを生かした様々な取り組みをおこなっている。(詳細は資料に掲載)

3日目 11月18日(木) 9:00～

北海道札幌市 ほっさむ 発寒清掃工場視察

施設の概要説明・質疑応答後、清掃工場内の見学

・ごみ焼却時に発生する大量の熱エネルギーは清掃工場の発電にはもちろん、1900戸の家庭、高齢者保養施設等地域暖房や電力会社へも売却

(詳細は資料に掲載)

所見

ほっさむ 札幌市発寒清掃工場は燃やせるゴミをまさしく衛生的に処理する発電所そのものである。人口195万人の札幌市が処理するゴミの総量は161万トン、2市2町の新川広域圏の人口は11万6千人、ゴミの量は32万1千トン。

せめてエコポートで燃やすゴミももっと発電に・・・と思うが、規模の面から無理なのかなあ・・・。

しかし、この3日間の自民クラブの視察研修では、同じ2,000メートル級の『あさひ岳』と同名の山を持つ東川町が自然と立地を活かし、写真の甲子園大会を開催したり日本語教育の外国人学校を作ったり、又9割が森に囲まれた下川町は森を財産として『循環型森林経営』をいち早く確立したりなどの町も大変な意気込みが感じられた研修であった。

朝日町議会自民クラブ
西岡良則

朝日町議会自民クラブ5名は、令和3年度政務活動費を活用させていただき、11月16日から18日までの3日間にわたり北海道東川町、下川町、札幌市において行政視察研修を行ってまいりましたので報告いたします。

【11月16日北海道東川町 PM16:00～】

視察内容 東川町を表敬訪問

北海道のほぼ中央に位置し、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の一部と大雪山連邦の最高峰旭日岳2,291mを有すし、水が豊かにあふれる東川町を表敬訪問をし、庁舎において行政から松岡市郎町長、市川直樹・平田章洋副町長、議会からは高橋昭典議長、鶴間松彦副議長、本多大樹議会議務局長の出迎えを受け懇談をさせていただいた。

懇談では、大雪山の恵みを大切に、町民が毎日、天然水で暮らす町の概要について説明を受け意見交換をさせていただきました。写真文化首都「写真の町」、「適疎」なまちづくりの詳細については明日研修視察をさせていただくことにし庁舎を後にした。

【11月17日 北海道下川町 しもかわ観光協会 AM9:30～】

視察内容 循環型森林経営とバイオマスの導入について

小雪が降る中、午前7時30分に旭川市のホテルを出発、高速道路の除雪作業により予定より1時間余り遅れて視察研修先の下川町まちづくりセンターコモレビ(しもかわ観光協会)に到着。

下川町は持続可能な地域社会の実現に向けて～人と自然を未来に繋ぐ「しもかわチャレンジ」～を行っており、昭和35年ころには15,555人であった人口は50年余りで急激に減少し、現在では3,207人と朝日町同様過疎地域に指定されている。

(1) 持続可能な社会の実現に向けて

経済、社会、環境の価値創造をし、総合的な解決のコンセプトとして、経済では森林総合産業を目指し森林資源を余すことなく使うことにより、生産の林業、加工の林産業、需要の森林バイオマス産業などの一体化が図られている。また環境ではエネルギー自給を目指し、森林バイオマスの活用により、現

在では56%の自給率であり、将来的には電熱の自給を目指すとのことである。また、社会では、超高齢化対応社会として集落再生モデル創造により、限界集落の再生や新たな人の流れの創出を図っていくとのことであった。

(2) 森林、林産業の特徴

町の森林面積56,810ha(町の面積の9割)の内、町有林は国有林の払い下げにより4,688haを有しており、1年間に30haから50haを伐採。100年にわたり伐採、植林、育成を計画的に行う循環型森林経営が確立されている。

林産業として町には8社9工場が立地しており、製材工場、構造用・造作用集成材工場、割りばし工場がある。また、森林林産関係事業への就労者数は170名あまりにも及び関連産業の従事者や家族を含めると人口の約3分の1が森林産業に関連していることには大変驚きであった。

(3) 森林バイオマスエネルギー(熱)利用による地域づくり

資源のあるところに産業が興る、エネルギーのあるところに産業が興るの考えのもと、森林の恵みを余すことなく活用するため、公民館、小学校、などの内装の木質化を図るとともに、地域材の利用拡大や一の橋地区バイオビレッジ構想により超高齢化対応社会モデル集落が構築されていた。

また、木質バイオマスボイラーの熱供給システムにより現在11基の木質ボイラーが稼働しており公共の温泉、町営住宅、小学校、病院など30施設に熱が供給されている。こうした施策により人口はほぼ横ばいであるが高齢化率は低下しているとのことであった。

今回の下川町の視察では、朝日町も面積の88%が森林であり、森林資源が豊富な町でもあります。この資源を有効に活用することにより循環型森林経営を可能にし雇用の拡大を図ること検討してもいいのではないかと思われた。

【11月17日 北海道東川町 PM2:30~】

視察内容 交流人口拡大及び移住定住の取り組みについて

東川町では高橋議長、鶴間副議長、市川副町長、吉原税務定住課長、本多議会事務局長の同席のもと「せんとぴゅあ」の会議室で研修を行った。

(1) 移住定住に関すること

東川町の文化や地域の人々に触れ「東川暮らしを体験しませんか」をスローガンに移住相談ツアー、移住体験を行っている。移住相談ツアーの対象者は東川町外在住者であることや東川町に移住を検討している人で、ツアーの参加に当たっては「東川町PRのお手伝い」への協力が条件となっている。助成としては、交通費、宿泊費、ツアー実施に要する経費(上限20万円まで)

滞在中一人一日につき1,000円分の町内で使用できるHUCカードポイントが配布される。また、移住体験について野対象者は、連続して3か月以上参加することとなっており。助成としては移住体験中に滞在する「東川暮らし体験館」を月額20,000円で入居が可能である。

一方、移住対策、空き家対策として空き家バンクを開設しているが、空き家がすくなく移住対策に十分対応できない状況にあるとのことであった。また、定住人口については、平成5年には7,063人であった人口は、緩やかに回復へと推移し、令和2年には8,437人と増加していることに全国的に人口減少が起きている中で大変驚いた。人口増加の確かな要因は不明であるが、町の移住定住対策や日本語留学生事業などの各種施策の効果が出ているのではないかとこのことであり施策の大切さを思い知らされた。

(2) 日本語学校留学生研修事業

アジアを中心に世界中から留学生を積極的に受け入れ、語学だけではなく文化体験や地域の体験学習も実施し、地域の人々や日本の文化に触れる機会を作っている。また、町内には民間専門学校が日本語学科を開設しており、町と専門学校、近隣の市町村が連携をし、外国人介護福祉の人材を養成する取り組みが行われており、介護人材不足の解消に大きな成果を収めている。

また、外国青年招致事業では、国内初となる公立日本語学校の開設や高校生国際交流写真フェスティバルの開催など、多様でユニークな国際交流の取り組みが行われているとともに、住民との交流や教育、福祉など国際交流以外の様々な取り組みにより、「ヒト、モノ、コト」の相互連鎖から広がるまちづくりが行われている。成果としては交流人口・関係人口の増加、町の知名度のアップ、地域内の消費の拡大、人材の育成・供給による地域課題の解決などがある。

(3) 関係人口拡大へ「写真の町」ひがしかわ株主制度

東川町のふるさと納税である「写真の町」ひがしかわ株主制度とは、東川町を応援相とする人が、東川町への寄付で「ひがしかわ株主」となり、共に町の未来を育んでいく趣旨で創設されたもので、株主が応援する投資事業には{写真の町}整備事業、オーナーズハウス建設事業、オリンピック選手育成事業、写真甲子園映画制作支援事業、写真文化首都創生館整備事業、水と環境を守る事業、医療型観光施設整備事業、織田コレクションアーカイブス事業があり、株主には株主証が発行され、東川町の様々な施設などを優待利用ができる。また、天然の美味しい地下水で育んだ新米や新鮮な野菜を届ける株主ファーム、フレッシュな東川産のぶどうで誕生した「ひがしかわワイン」の限定販売、植樹や株主総会を通じて東川町のまちづくりに参加ができる株主総会などの株主限定の規格がなされている。

【11月18日 北海道札幌市発寒清掃工場 AM9:00～】

視察内容 ごみ処理と熱の再利用について

新川広域圏の事業として朝日町に平成12年に建設されたごみ処理施設エコぽ～とは建設から20年以上が経過し、現在延命化が行われているが将来的にどのような施設にしていくのか議論がされている。また、ごみ焼却の余熱を利用した発電についても協議がなされており、発電所有する札幌市の発寒清掃工場を今回視察することにした。

(1) 札幌市のごみの量と処理

札幌市のごみの処理総量は年間約61万トンで、このうち資源化のための選別施設に持ち込まれるものが約12万トン、清掃工場で焼却されるものが約45万トン、埋立地に持ち込まれるものが約4万トンとなっている。なお、埋立地には清掃工場の焼却灰も処分されており埋立総量は約10万トンとなっている。発寒清掃工場での処理能力は1日24時間運転で600トンとなっている。清掃工場には郊外を防止するため、安定した燃焼を確保し、排ガスの規制物質を基準以下にするため排ガス処理装置の運転には自動制御が導入されている。

(2) 余熱利用の発電設備

ごみを燃やす時に出る熱をボイラーで回収して蒸気を発生させ、清掃工場の運転に必要な熱源や動力源として利用のほか、蒸気タービン発電機による自家発電や外部の施設への熱供給等も行っている。清掃工場の機械を動かすために必要な電気は、自家発電した電気を使い、余った電気は売却をしている。発電量は4960KWで売電による収益は年間2億1千万円であった。

エコぽ～とは現在施設の延命化対策を検討しているが、いずれ施設の更新を図る時期が来ます。その時の対応として発電設備を備えた札幌市発寒清掃工場を視察した。売電による収益はあるものの専任技術者の配置や発電機の整備管理費を考慮するとエコぽ～とに導入する場合は協議検討を要すると感じた。

自民クラブ 行政視察研修報告書 朝日町議会議員 加藤 好進

1. 行政視察年月日 2021年 11月16日～18日

(1) 視察場所	第1日	11月16日	北海道東川町 東川町役場	(午後)
	第2日	11月17日	北海道下川まちづくりセンター 北海道東川町	(午前) (午後)
	第3日	11月18日	札幌市発寒清掃工場	(午前)

2. 概要

第1日 北海道東川町 東川町役場表敬訪問

応対者：東川町長：松岡 市郎 副町長：市川 直樹・平田 章洋

議会議長：高橋 昭典 議会副議長：鶴間 松彦 議会事務局長：本田 大樹

到着の挨拶、両自治体の近況報告と情報交換、明日(17日)の研修などについて意見交換をする。

第2日 北海道下川まちづくりセンター (9時30分～)

応対者：下川町農林課主幹：高原 義輝

NPO 法人しもかわ観光協会：高松 峰成 亀田 亜弥

・下川町の概要について

下川町とは、北海道の北部に位置し、人口約3,200人、面積644Km²のうち9割を森林が占める自然豊かな町で、農業、林業、製材業が基幹産業としている。

また、スキージャンプのレジェンド葛西紀明選手の出身地でもある。

持続可能な地域社会の実現に向けて、昭和28年に国有林の払い下げを受けて以降、60年をかけて計画的な伐採と植林を行い、平成26年から、植林50ha×育林60年=3,000haの町有林の循環型森林経営をスタートし、就労・雇用の確保、地元製材業者への木材の安定供給をしている。

・木質バイオマスエネルギーの取組みと効果について

昭和35年15,000人であった下川町の人口は、木材の輸入自由化や鉱山の閉山などにより大きく減少。更にJRの路線廃止もあり地域がなくなるかもしれないとの危機感があり、住民の発案から、持続可能な町を作るため、地域資源を活用していこうと、町民有志による「下川産業クラスター研究会」が立ち上がり、地域材を活用した住宅建設やトドマツ精油などの新産業創出プロジェクトが動き出す、その一つに木質バイオマスエネルギー利用もあり、行政は、林野庁の「国有林のエネルギー資源検討会」に参加して、木質バイオマスのエネルギー利用に関する調査を開始。住民と行政が統合する形で具現化したのが、五味温泉への北海道初となる木質バイオマスボイラーの導入で、重油ボイラー2基から1基を木質バイオマスボイラーに切り替えを実施以降町内では木質バイオマスボイラーの導入が進み、現在は11基30の公共施設に熱供給しており、町内の全公共施設での熱需要量の7割が再生可能エネルギーとなっている。

また、丸太を伐採した際に発生する林地残材等をチップ化し木質バイオマスボイラーの熱供給を行っており、現在は、年間約3,500トンのチップ製造しており、重油換算では110万リットルに相当する量で、地元エネルギー業界への影響は大きいものがあるが、チップ製造事業は町営

で始まった事業で雇用効果があること等により関係業界の理解が得られ、ガソリンスタンドの燃料に関係する地元企業5社が設立した「下川エネルギー供給協働組合」が現在管理運営を担っている。

・超高齢化対応社会モデル集落の構築について

町の中心部から10kmほどの「一の橋地区」は最盛期の人口約2,000人から林業の衰退により平成21年には95人まで減少して地域社会の維持が困難な状況に陥る。

地区の将来について住民と議論を重ねた結果、熱供給施設（木質バイオマス）を中心に町営住宅の建て替え時期に合わせてJR駅跡地に町営住宅エリア、住民センター、郵便局、地域食堂、障がい者支援施設など、エリア内に日常生活を支えるサービス機能を集約している。また、木質バイオマスボイラー熱量を活用した特用林産物栽培所研究所（菌床シイタケ栽培）を整備しており、その取り組み効果（利益）は子育て支援や仕事づくりに波及している。

・所感

1980年代、急激な人口減少などの危機や困難に住民と「知恵・工夫・行動」持続可能な地域社会の実現に向けて、財政再建団体になるも「循環型森林経営」に取り組み、就労・雇用の確保、地元製材業者への木材安定供給などで発展してきた。

現在、森林バイオマスエネルギー利用（熱）木質バイオマスボイラー（11基）が設置され、熱利用によるまちづくりを進めている。

日本の「循環型森林経営」の先駆者として、超高齢化対応社会モデル集落の構築については、人口流出、高齢化、生活基盤の衰退など、抱えている自治体には参考モデル集落になると思う。

第2日 北海道 東川町複合交流施設せんとぴゅあI（14時30分頃から）

応対者：副町長：市川 直樹 税務定住課課長：吉原 敬晴

議会議長：高橋 昭典 議会副議長：鶴間 松彦 議会事務局長：本田 大樹

・東川町概要について

北海道のほぼ中央に位置し、旭川空港より車で約10分と近くベッドタウンとしても好条件の立地と、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部となっている。

基幹産業としては、農業では北海道屈指の米どころであり、水田作付面積は、約2,300ヘクタール、農家戸数（米作）12.5戸、平均作付面積約18haであり、「東川米」ブランドを確立し2019年「ゆめぴりかコンテスト」で金賞受賞するなど、2020年には、全国でも珍しい公設民営方式による日本酒醸造施設をオープンするなど農業振興に力を注いでいる。

また、全国的に有名な写真の町「写真甲子園」の開催や「家具・木工の町」、移住施策（住宅支援・起業化支援）、日本語学校・研修事業（留学生）の受入、多様な国際交流事業、関係人口の拡大など「住民の幸福度アップ」に向けて新しいまちづくりに取り組んでいる。

・東川町の「過疎」な町づくりと可能性について

松岡町長とは、以前国際アカデミーでの研修講師としてからの面識があり、2015年4月、写真文化首都「写真の町」北海道東川町のまちづくりと題しての講演や2016年1月には、災害協定の締結、職員の人事交流など当町とは友好的自治体のひとつでもあります。

今回は、東川町の「過疎」なまちづくりと可能性について説明を受けた。

景観条例・住宅施策、移住施策（定住人口の推移）、移住住宅支援・起業化支援、基幹産業（農業振興、旭川家具）、産業振興（ひがしかわユニバーサルカード）、観光振興（写真文化首都・写真の町）、子育て環境、日本語学校・研修事業（留学生）、関係人口の拡大など、過疎なまちづくりの可能性に向けて多くの施策を企画し展開されている。

町内には民間の専門学校が設置した日本語学科があることは知っていたが、今回興味をもったものは、町と専門学校、近隣市町村（22自治体）が連携し、外国人介護福祉人材を養成する取り組みを進めていることである。これまでもアジア中心に世界中から留学生を積極的に受け入れており、日本語学科の設置が基本にあると思われる。

東川町はこれまで多くの民間企業の人材と強い関係を構築してきており、優秀な留学生の受け入れに大きな効果がある。

日本では、ますます高齢化が加速する中で、介護人材不足が言われているが国は具体的な国策を示さない中で、一自治体を中心となり将来の介護人材不足に積極的に進めていることには驚かされた。

新川広域圏内でも介護人材不足が問題提起されており、高校での看護・介護学科の新設を強く県に要望し人材養成に取り組んで行くことが重要である。

第3日 札幌市発寒清掃工場（9時10分～）

応対者：札幌市環境局：宮島 隆志、黒沼 智彦

・施設の概要について

札幌市内には、現在3か所の清掃工場（発寒・駒岡・白石）が稼働している。今回、発寒清掃工場の視察をする。

敷地面積：23,896㎡ 建設規模：鉄筋コンクリート造り一部鉄骨造り 地下2階 地上6階

建設費：192億3千8百万円 工事期間：着工平成元年10月 しゅん工：平成4年11月

機種・能力：三菱マルチン形焼却炉・600t/24h（300t/24h×2炉）

ちなみに「エコぼ〜と」は、炉数・処理能力：87t/24h×2炉である。

ごみを焼却した時には、大量の熱エネルギーが発生し、各清掃工場では、この余熱を再利用しており、発寒清掃工場では、熱を利用して発電し工場内で使用するほか、余った電気は電力会社に売却している。

・所感

現在、新川広域圏事務組合では「エコぼ〜と」の延命化計画が提案されている。

1案：既設利用することで工事費用が抑制。2案：ごみ発電による所内、らくち〜への電気供給補助が提案されている。1案、2案とも87t/24h×2炉が必須条件となり地元説明及び理解が必要となってくる。

発寒清掃工場でも発電しているが、工事費の高額、ボイラータービン発電機は法定点検やボイラータービン主任技術者、電気主任技術者などの有資格者が必要となり維持費や管理費が増加するデメリットが

あるという。

広域圏においては、人口減少が進む中、発電設備の導入についてはきちんと費用対効果を確認するなど議論を進めていく必要がある。

自民クラブ 行政視察研修報告書

朝日町議会議員 寺西

泉

1 行政視察の日程及び視察内容 令和3年11月16日(火)～18日(木)

(1) 11月16日 午後 北海道東川町役場

表敬訪問及び懇談

(2) 11月17日 午前 北海道下川町まちづくりセンター

循環型森林経営と木質バイオマスの導入について

(3) 11月17日 午後 北海道東川町 複合交流施設せんとぴゅあ

交流人口拡大及び移住定住の取り組みについて

(4) 11月18日 午前 北海道札幌市発寒清掃工場

施設の概要等について

2 所感

(1) 北海道上川郡東川町役場

松岡市郎町長、平田彰洋副町長、市川直樹副町長、高橋昭典議長、鶴間松彦副議長、本多大樹議会事務局長の6名と懇談した。お互いの町の現状と課題について意見交換を行った。

(2) 北海道上川郡下川町 下川まちづくりセンターコモレビ

下川町は人口約3,100名の町である。1960年には約15,555人いた人口は、木材の自由化による林業衰退、環境規制強化による鉱業衰退によって人口が急減した。急激な人口減少に立ち向かうために、2007年には下川町自治基本条例に「持続可能な地域社会を目指す」ことを位置付けた。2008年には環境モデル都市、2011年には環境未来都市、2018年にはSDGs未来都市に指定され、経済、環境、社会の価値創造統合的解決をコンセプトに町づくりを推進した。

朝日町も面積の約 88%が森林であり、これらの資源を有効活用した町づくりの推進について検討することも必要であると考え。下川町における「森林総合産業」「エネルギー自給」「超高齢化対応」の施策は、朝日町においても大いに参考にすべきであると考え。

① 経済「森林総合産業」

町の森林面積は、町の面積の約 9 割にあたる 5,6810ha である。その内、国有林は 84.7%、町有林は 8.3%、私有林は 7.0%である。伐採、植林、育成を計画的に行う、循環型森林経営が確立されている。林産業として、町に 8 社 9 工場があり、製材工場、構造用・造作用集成材工場、割箸工場があり、林業・製材業就業者数は 172 名で関連産業の従事者や家族を含めると、町人口の約 1/3 を占めている。

② 環境「エネルギー自給」

資源あるところに産業が興る、エネルギーあるところに産業が興るの考えの基、森林バイオマスエネルギー利用による地域づくりを目指している。木質バイオマスボイラーの熱供給システムにより、公共施設の 68%を再生可能エネルギーで賄っている。将来的には、電熱の自給を目指している。

③ 社会「超高齢化対応社会」

限界化する集落再生を目的に、地域おこし協力隊員を導入し、廃屋の撤去、ICT 見守り、ハウス栽培、石窯ピザ販売、商品開発、生活・買い物支援、除雪、地域食堂運営、機能性植物栽培、環境保全、障がい者施設支援、集落支援型 NPO 法人支援、施設管理、水源管理等を行っている。このことで、地区内の人口はほぼ変わらず高齢化率が低下した。

(3) 北海道上川郡東川町 複合交流施設せんとびゅあ

東川町は人口約 8,415 名の町である。全国的に人口減少が叫ばれる中、人口が増

加し、テレビ放送等で「奇跡の町」として報道され、全国的に注目を浴びている町である。東川町職員や議長、副議長の説明は、人口増をもたらした施策に対する自信に裏打ちされたものであり、どの施策に対しても羨ましく感じた。朝日町が、今後進むべき道筋が垣間見えた気がした。

① 移住定住に関すること

東川町の文化や地域の人々に触れ、「東川暮らしを体験しませんか」をコンセプトとして、移住相談ツアーや移住体験を実地している。移住相談ツアーは3泊4日から6泊7日のいずれかを選択することができる。対象者は①東川町外在住者であること、②東川町に移住を検討している、③東川町PRのお手伝いに協力できる人となっている。ここでは、③の条件が特徴的である。次に助成としては、200,000円を上限とし、交通費、宿泊料、その他ツアーの実地に関する経費に充てることが可能である。さらに、滞在中、1人1日につき町内で使用できる1,000円分のカードポイントが付与される。また、移住体験は3か月から1年の間を選択することができる。その際、充実した設備を備え、入居した日からすぐに暮らすことができる「東川暮らし体験館」を月額20,000円で入居可能な施設が用意されている。滞在中、1世帯1か月に10,000円のカードポイントが付与される。

② 日本語学校・研修事業について

国内初の公立日本語学校として、2015年に東川町立東川日本語学校を設立した。

定員は1年の長期コースとして100名程度、1か月から3か月の短期コースとして120名程度とし、宿泊施設として4施設を確保している。さらに町内には、民間専門学校が日本語学科を設置しているほか、外国人介護福祉人材を養成する取り組みも行っている。また、JETプログラムを活用し、外国人青年招致事

業を行っている。多くの外国青年が町内にいることで、多文化共生の町づくりに寄与している。

③ 関係人口拡大に向けた「写真の町」ひがしかわ株主制度

東川町のふるさと納税である「写真の町」ひがしかわ株主制度とは、東川町を応援しようとする方が、東川町への「投資」（寄付）で「ひがしかわ株主」となり、共に町の未来を育んでいくことを趣旨としている。株主が応援する投資事業には、写真の町整備事業、オーナーズハウス建設事業、写真甲子園映画製作支援事業、写真文化首都創生館整備事業、オリンピック選手育成事業、水と環境を守る森づくり事業、自然散策路整備事業、ひがしかわワイン事業、医療型観光施設整備事業、織田コレクションアーカイブス事業の10の施策がある。株主には株主証が発行され、株主専用宿泊施設に泊まって、株主限定企画（株主ファーム、ひがしかわワイン限定販売、株主総会への参加）を通して、町づくりに貢献することが可能である。

(4) 北海道札幌市発寒清掃工場

新川広域圏の事業として、平成12年に朝日町において、ごみ処理施設エコポートが建設された。20年以上が経過し、施設が老朽化し、現在は、延命化により運営されているが、近い将来、施設の更新は避けて通ることができないと考える。

① 札幌市のごみ処理

札幌市のごみ処理送料は年間約61万トンで、このうち資源化のため選別施設に持ち込まれるものは約12万トン、清掃工場で焼却されるものは約45万トン、埋め立て地に持ち込まれるものは約4万トンである。発寒清掃工場の処理能力は24時間運転で600トンである。

② 余熱利用の発電設備

ごみを燃やす際に発生する燃焼熱をボイラーで回収し、蒸気を発生させることで自家発電を行っている。清掃工場の運転に必要な熱源や動力源として利用しているほか、北海道電力に売電をしている。

北海道行政視察研修報告書

朝日町議会自民クラブ 石原孝之

1. 行政視察行程 令和3年11月16日(火)～11月18日(木) 3日間
2. 視察先/視察目的・1日目 11月16日(午後) 東川町役場 表敬訪問
 - ・2日目 11月17日(午前) 下川町 しもかわ観光協会
 - ・循環型森林経営によるバイオマスエネルギーの供給について
 - (午後) 東川町議会
 - ・目的 交流人口拡大や移住定住の取組みを学ぶため
- ・3日目 11月18日(午前) 札幌市西区 発寒清掃工場
 - ・ゴミの燃焼による発電と売電の取組みについて

3. 視察内容

1日目 東川町役場表敬訪問

2日目 下川町 しもかわ観光協会

(午前) 循環型森林経営におけるバイオマスによるエネルギーの供給について

【下川町木質原料製造施設の概要】

地域の未利用な森林資源をエネルギー利用することによる林業・林産業の活性化、雇用の創出、エネルギー購入費の内部好循環による地域経済の活性化及び大幅な二酸化炭素の排出を目的に、公共施設を中心に木質バイオマスボイラーの導入を促進している。

【下川町の概要】

人口:3,087人(R4.2現) 世帯数:1,670(R4.2現) 高齢化率:40%

町の面積:64,420ha 森林面積:56,810ha(総面積の90%)

国有林:48,147ha(84.7%) 町有林4,688ha(8.3%) 私有林:3,975ha(7.0%)

【循環型森林経営】

- ・伐採、植林、育成を繰り返す循環型森林型経営を行っております。
- ・その目的は、基本財産造成と雇用対策(確保)のため。
- ・平成23年に国から森林総合産業特区の指定を受ける。
- ・平成26年に循環型森林経営をスタート。
- ・50haに植林をおこない育林(下刈)→(間伐)、60年後に伐採
就労や雇用の確保、地元製材業者への木材の安定供給が出来る
- ・林産業 8社9工場(製材工場、集成工場(構造用・造作用)、割箸工場などにて150名が就労
- ・森林林産関係事業 13社・団体(トマツ精油、家具用広葉樹林、木材運輸、笹、シイタケ栽培など)
- ・製材品出荷額 約27.2億円

【森林バイオマスエネルギー(熱)利用の概要】

・木質バイオマスボイラーシステム

造材や間伐作業により発生する林地残材を木質原材料バイオマスボイラーにより周辺施設へ燃焼エネルギーを温水に転換して供給するシステムです。

【11基の木質ボイラー設置場所】

苗施設、高齢者複合施設、役場周辺地域熱供給施設、町営住宅、幼児センター、造作用集成材工場、五味温泉、エコハウス、一の橋地区地域熱供給システム、小学校・病院地域熱供給システム、中学校、
・11基の木質ボイラーで30施設に熱の供給が行われている。
・公共施設の熱供給68%W再生エネルギーへの転換が行われている。

【超高齢化対応社会モデル集落の構築】

中心市街地から約12kmにある「一の橋地区」にて、一の橋地区バイオビレッジ構想として「エネルギー自給型集住化エリア整備による集落の再生を行った。

・目指すべき姿として、超高齢化問題と低炭素化を同時に解決

- ①エネルギー自給の向上
- ②環境配慮建築の導入
- ③地域資源の活用による新産業創造
- ④集住宅化による自立型コミュニティモデルの創造

・地域熱供給施設(太陽光パネル15kW 木質ボイラー550kW×2)から10か所に供給

- ①障がい者支援施設 ②誘致企業貸付試験研究施設 ③特用林産物栽培研究所 ④集住宅(22戸)
- ⑤コンテナ苗栽培・薬用植物育苗 ⑥住民センター ⑦駅カフェイチョノハシ(地域食堂) ⑧コミュニティセンター
- ⑨集住宅(4戸) 宿泊施設(2戸) ⑩EV充電器

・着手前と現在の比較

人口はほぼ変わらず高齢化率が低下

平成21年では、人口95人 65歳以上が49人(51.6%) 15歳～64歳44人(46.3%) 14歳以下2人(2.1%)

平成28年では、人口76人 65歳以上が21人(27.6%) 15歳～64歳48人(63.2%) 14歳以下7人(9.2%)

主な増加要因は、移住者の増加(15歳～64歳)地域おこし協力隊、起業、誘致企業関係者など

2030年における下川町のありたい姿として下川版SDGsが2018年4月に策定されております。

「誰ひとり取り残されず、しなやかに強く、幸せに暮らせる持続可能なまちづくり」を基本に7つのゴール目標が設定されております。

今回視察した下川町は、「森林資源を余すことなく使う」をキーワードに、循環型森林経営を早くから実施し林業・林産業の活性化、就労・雇用の確保や地元製材業者への木材の安定供給を行うとともに、林地残材などを集積し、木質燃料を利用したバイオマスエネルギー(熱)を公共施設に使用することにより68%を再生エネルギーに転換することに成功している。

一の橋地区においては、ビニールハウスへの熱エネルギー供給によりキノコの栽培が行われており、年間の(上)が7,000万円となっており、雇用の確保や大きな収入源になっております。

当町においても、町の発展や雇用の創出、人口の増加を考え攻めの施策を行わなければ衰退していただけないかと、今回の視察を終え考えさせられました。

(午後) 東川町議会

目的 交流人口拡大や移住定住の取組みを学ぶため

北海道のほぼ中央に位置する東川町は、全国的にも珍しい3つの「道」がない町。

国道がない。鉄道がない。上下水道がない。そのうちの1つ上下水道がない秘密は、大雪山の雪解け水が長い年月をかけゆっくりと地中深くにしみ込み、ゆっくりと東川町に運ばれて、その水を生活水として利用しています。人口:約8,415人(内外国人311人) R3. 9. 30現在 ゆるやかに人口が回復している。

【移住施策】

①東川町移住相談ツアー

最大6泊7日の中で町民と交流をしながら東川町での暮らしをプチ体験するツアー

東川町のいいところ体験として、

・子育て環境体験 保育園、小学校、中学校をみていただきながら説明

- ・農業体験 農家の農業現場を見学したり、話しを聞き参考になる体験
 - ・文化体験 興味のある職種などの見学
 - ・職業体験 レストランやカフェなど東川町で起業されている方々からお話を聞く
 - ・大雪山自然体験 旬で見どころ沢山の大雪山のトレッキングをお楽しみいただきます。
 - ・ツアーの実施に要する経費を1組上限20万円まで助成
 - ・滞在中1人1日につき1,000円分の町内で利用できるカードポイントを配布
- 令和3年の4泊5日ツアーに23組が参加しその内の7組が移住を決めた。

②移住体験

1年間を東川町で暮らす本格的移住体験。宿泊先の家賃援助や毎月の補助があり、安心して東川町の1年間をじっくり体感することが出来る。

- ・移住体験中に滞在する「東川町暮らし体験館を」月額25,000円で入居
- ・滞在中、1世帯1カ月につき10,000円分の町内で使用できるカードポイントを配布
- ・東川暮らし体験館は入居したその日からすぐに暮らせる充実した装備がそろっている。

【東川町立東川日本語学校】

アジアを中心に世界中から留学生を積極的に受け入れを行っている。語学だけでなく、文化や地域の体験学習なども実施し、地域の人々や日本の文化に触れる機会を多くつくっている。

町内には民間専門学校が日本語学科を設置しているほか、町と専門学校、近隣市町村が連携し、外国人介護福祉人材を養成する取り組みも進めている。

【関係人口の拡大】

「ふるさと納税」ではなく、「ふるさと株主」

ひがしかわ株主制度とは、東川町を応援しようとする方が、東川町への「投資」(寄附)で「ひがしかわ株主」となり、共に町の未来を育てていくことを趣旨に取り組んでいます。

①株主証の発行 株主には、株主証を発行し東川町の様々な施設等での優待利用が受けることが出来る。

②株主限定企画のご案内 新米や新鮮なお野菜をお届けする企画

- ・新米や新鮮なお野菜をお届けする企画
- ・ひがしかわワインの限定販売企画
- ・植樹や株主総会を通じて町づくりに参加する企画

③株主専用宿泊施設

- ・一万円以上投資で指定施設に年間2泊無料宿泊
- ・コテージの半額利用
- ・株主専用宿泊施設

東川町の強みは、資源・文化・産業・人材を生かした様々な取り組み

東川らしさ「東川スタイル」が人を呼び込む「共に」理解しあい・「豊か」にくらす それにより、住民の幸福度がアップする。

人口8,400人が生き生きと暮らせるまちづくり、行政も国からの助成金を上手に使いながら事業を進めている。しっかりと循環型が出来ており、みんなが幸せにそして安心して暮らせるシステムが構築されている。

3日目 札幌市西区 発寒清掃工場

ゴミの燃焼による発電と売電の取組みについて

【建設概要】

- ・鉄骨鉄筋コンクリート造り一部鉄骨造り 地下2階 地上6階 建築面積:6,853㎡ 竣功:平成4年11月
- ・鉄骨鉄筋コンクリート造り一部鉄骨造り 地下2階 地上6階 建築面積:6,853㎡ 竣功:平成4年11月

【設備概要】

- ・ごみ投入扉 8基
- ・ごみピット 7,000㎡ 1基
- ・ごみクレーン7.8トン 2基
- ・焼却炉本体 2炉

【発電設備】

・蒸気タービン発電機 4,960kW 1基 ・非常用発電機 1,250kW 1基

【電気設備】

・受変電設備 1 ・動力制御設備 1 無停電電源装置 1

【処理】

・1日150台～250台約420トンのゴミが運び込まれる。1日の処理能力は600トン

【燃焼】

・ごみを燃やす時に出る熱をボイラーで回収して蒸気を発生させ、蒸気タービン発電機による大規模な自家発電、外部の施設への熱供給なども行っている。

清掃工場の機械を動かすために必要な電気は、自家発電した電気を使い、余った電気は電力会社に売却を行っている。

年間の発電量:14,290,000kW 売電益:約2億円

札幌市では3つの清掃工場が稼働しています。発寒清掃工場以外の2つの工場は、

①駒岡清掃工場 昭和60年11月竣功 処理能力:1日600トン 自家発電設備:4,960kW

②白石清掃工場 平成14年12月竣功 処理能力:1日900トン 自家発電設備:30,000kW

清掃工場の定期整備や機器の更新などについては、3つの工場の運転計画を調整しながら実施

当町でも同じように発電設備を備えたゴミ焼却施設の事業を行うにはハードルがあることがわかりました。

①ゴミの量が少ない為24時間の稼働が出来ず発電容量が確保できない。

②その為売電による利益の確保が出来ない。

③建設費、機能維持費、機器の更新などの費用面をみても、採算が取れない可能性がある。

しかしながら、今後ゴミ焼却施設に対して、何らかの利益を生み出す方法を考える必要があるのではないかと考えられます。

領収証等添付用紙


令和3年度

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	2
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	176,000円	支出年月日	令和4年3月24日
支出内容	自民クラブ通信 Vol.7 (4,000部)印刷代		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

<p>領 収 証 002599</p> <p>自民クラブ様 令和4年3月24日</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">¥ 176,000-</p> <p>但し 印刷代として 上記の金額正に領収いたしました。</p>								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">内</td> <td style="width: 75%;">印刷物代金</td> <td style="width: 20%;">¥</td> </tr> <tr> <td>取</td> <td>消費税</td> <td>¥</td> </tr> </table>	内	印刷物代金	¥	取	消費税	¥	<p>株式会社 すかしの印刷</p> <p>代表取締役 菅野 寛</p> <p>〒938-0802 富山県富山市若菜本町 5-1 (0765)54-XXXXXXXXXX</p>	<p>取扱者印</p> <div style="background-color: black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div>
内	印刷物代金	¥						
取	消費税	¥						

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

請求書



Heartfull Communication
株式会社 野野野印刷

〒938-0802 富山県黒部市若栗2630

TEL (0765) 54-0112

代表取締役 野野野 寛

自民クラブ

御中

下記のとおり請求いたします。

令和 4 年 11 月 18 日

品名	数量	単価	金額	摘要
自民クラブ通信 Vol.7	4,000部	40	160,000	
小計			160,000	
消費税			16,000	
合計			176,000	

取引銀行 北陸銀行黒部支店 ☎ 1735220
 にかわ信用金庫桜井支店 ☎ 0010114
 黒部市農業協同組合三日市支店 ☎ 6000884

富山第一銀行黒部支店 ☎ 0017095
 北陸銀行宇奈月支店 ☎ 1000040
 富山銀行黒部支店 ☎ 0330160

調査研究・研修・その他活動 実績報告書

実施年月日	令和4年3月24日	会派名	自民クラブ	
活動項目	<input type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 研 修 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> その他(広報)			
活動参加者	水野仁士、西岡良則、加藤好進、石原孝之、寺西泉 計5名			
経費の項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費			
活動内容等 (視察・会議 等の概要・目 的・内容・調 査結果等)	会派活動内容の広報のため、町内全戸に配布する。 自民クラブ通信 Vol.7 (4,000部)			
上記活動に 要した経費	支出内容	積算の内訳(支出先等)	支払額	領収書番号
	印刷代	自民クラブ通信 Vol.7	176,000	2
備考				